

## 計 算 書 類 に 対 す る 注 記

### 1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

投 資 有 価 証 券 ……総平均法による原価基準

(2) 棚卸資産の評価方法について

商 品 ……最終仕入原価法

(3) 固定資産の減価償却について

備 品 等 ……定額法

ソ フ ト ウ ェ ア ……定額法

(4) 引当金の計上基準について

職員退職給与引当金 ……職員の退職金の支給に備えるため、期末自己都合要支給額相当額を計上している。

(5) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、仮払金、未払金、未払消費税等、未払法人税等、前受金、預り金、仮受金及び預り保証金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記4に記載のとおりである。

(6) 消費税の会計処理について

税 込 方 式

### 2 基本財産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
投 資 有 価 証 券	160,000,000	0	0	160,000,000
定 期 預 金	2,000,000	0	0	2,000,000
合 計(基 本 金)	162,000,000	0	0	162,000,000

### 3 預り金の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

内 訳	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
施設使用料等(大阪市分)	187,942,200	1,885,319,475	1,999,340,965	73,920,710
その他源泉所得税等	4,419,003	149,133,130	148,811,403	4,740,730
合 計	192,361,203	2,034,452,605	2,148,152,368	78,661,440

4 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現 金 預 金	348,976,514	335,337,555
未 収 金	161,922,434	87,775,771
前 払 金	217,035	305,046
仮 払 金	1,070,847	3,500
合 計(ア)	512,186,830	423,421,872
未 払 金	216,937,097	235,025,101
未 払 消 費 税 等	5,525,900	6,978,300
未 払 法 人 税 等	1,280,100	6,781,100
前 受 金	3,492,000	3,160,000
預 り 金	192,361,203	78,661,440
仮 受 金	48,500	0
預 り 保 証 金	53,787,800	52,915,800
合 計(イ)	473,432,600	383,521,741
次期繰越収支差額 (ア) - (イ)	38,754,230	39,900,131

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
備品等	35,341,031	26,063,308	9,277,723
ソフトウェア	4,052,475	790,292	3,262,183
合 計	39,393,506	26,853,600	12,539,906